

病原因子検査学演習Ⅱ (Graduate Seminar of Pathogenic Laboratory Ⅱ)

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
井上 孝	1年次後期	選択	2	48	演習	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	病原因子検査学演習Ⅱでは、細菌の産生するエンテロトキシンが要因となる健康被害を調査し、臨床および社会に還元できる情報を作成する。また、エンテロトキシンについて遺伝子レベルで説明できる知識を修得する。課題に対するフィードバック方法/レポートに対して討論するほかコメントをつけて返却する。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「健康に対する社会的ニーズを認識するとともに、グローバルな視野を持ち、科学的根拠に基づき、自ら考え、判断し、課題解決に向けて対応することができる。」及び④「臨床検査技師の役割を探究し、臨床検査学分野の高度な実践者、教育者及び研究者として社会に対して責任を果たし、貢献できる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体に及ぼす生活習慣要因の原因を理解できる。 2. 疾病要因の仕組みを学ぶことにより疾患への理解ができる。 3. 健康障害・疾病発生および健康維持・増進の予防対策が理解できる。 							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1回～第24回事前学習：事前に計画されている単元について予習を行っておく/予め指定した論文を読み、その内容を概説できるようにしておくこと (各30分)</p> <p>第1回～第24回事後学習：講義内容で不明な点は、講義終了直後もしくはオフィスアワーを利用して質問するなどして明確にするよう努める/教員が配布する資料で復習を行うこと。 (各30分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	第1回	細菌の産生する蛋白毒の分子構造1 (講義)					井上 孝	
	第2回	細菌の産生する蛋白毒の分子構造2 (講義)					井上 孝	
	第3回	細菌の産生する蛋白毒の分子構造3 (講義)					井上 孝	
	第4回	細菌の産生する蛋白毒の分子構造4 (講義)					井上 孝	
	第5回	細菌の産生する蛋白毒の作用機序1 (講義)					井上 孝	
	第6回	細菌の産生する蛋白毒の作用機序2 (講義)					井上 孝	
	第7回	細菌の産生する蛋白毒の作用機序3 (講義)					井上 孝	
	第8回	細菌の産生する蛋白毒の作用機序4 (講義)					井上 孝	
	第9回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 1 (ゼミ)					井上 孝	
	第10回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 2 (ゼミ)					井上 孝	
	第11回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 3 (ゼミ)					井上 孝	
	第12回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 4 (ゼミ)					井上 孝	
	第13回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 5 (ゼミ)					井上 孝	
	第14回	細菌の産生する腸管毒 (論文) 6 (ゼミ)					井上 孝	
	第15回	Yersinia enterocoliticaの下痢原因毒素1 (講義)					井上 孝	
	第16回	Yersinia enterocoliticaの下痢原因毒素2 (講義)					井上 孝	
	第17回	Y. enterocoliticaの下痢原因毒素ST構造1 (論文)					井上 孝	
	第18回	Y. enterocoliticaの下痢原因毒素ST構造2 (論文)					井上 孝	
	第19回	Y. enterocoliticaの下痢原因毒素ST構造3 (論文)					井上 孝	
	第20回	Y. enterocoliticaの下痢原因毒素ST構造4 (論文)					井上 孝	
	第21回	Esherichia coli の下痢原因毒素ST構造 (論文) 1					井上 孝	
	第22回	Esherichia coli の下痢原因毒素ST構造 (論文) 2					井上 孝	
	第23回	Esherichia coli の下痢原因毒素ST構造 (論文) 3					井上 孝	
	第24回	Esherichia coli の下痢原因毒素ST構造 (論文) 4					井上 孝	
評価方法 評価基準	授業参加態度、プレゼンテーション、レポートなどを合わせて総合的に評価する (100%)							
教科書	なし			参考書等		なし		
学生への メッセージ	食中毒の分類と毒素の種類及び毒素の人体への影響などについて臨床検査技師として必要な知識を教授します。							